

温度処理によるユーチャリスの開花調節

祖一範夫・瀬尾龍右・佐藤義機

ユーチャリスの計画的な生産を可能にし,切り花の普及と消費の拡大を図るために,温度処理による開花調節について検討した。

1. 開花には 28°Cで 6 週間または 32°Cで 4 週間の温度処理が必要であり,処理温度や期間が不足すると,開花率が低下した。
2. 温度処理後の栽培温度は,処理した温度よりも 5°C程度低くするのがよい。これよりも高い温度では開花率が低下し,逆に,低い温度では到花日数が増加し,花茎の短小化,花蕾数の減少など切り花品質が低下した。
3. 開花調節に適した開花球の大きさは,長径 4.0cm 以上,かつ短径 3.5cm 以上であった。
4. 一度開花した球根を再度開花させるためには,開花後 16°Cで 9 週間以上の栽培期間が必要で,これよりも短い栽培期間では開花率が低下した。

キーワード:温度,開花,切り花品質,ユーチャリス